

大成ファインケミカル
低臭・短工期でおしゃれに
アスファルト用デザイン舗装塗料発売

大成ファインケミカルは、低臭・短工期で駅のホームやテーマパークなどの舗装をおしゃれに施工できるアスファルト用デザイン舗装塗料「リリーフペイントHG」を発売した。
 同社は、アスファルト



石畳調など全16種類のパターンが用意されている

上へのカラーリング付与と保護を目的とする「リリーフペイント」シリーズを上市しているが、景観舗装材の販売・ラインアップを強化するため、ステンシルペーパー(型紙)を用いた重ね塗りに対応する塗料「リリーフ

ペイントHG」を開発。湿度の高い夏場でも指触乾燥まで1時間程度という速乾性と短時間施工性はそのままに、耐久性と意匠性をさらに向上させた。

長期の耐久性を実現するハイブリッド・ペイントの使用で、ウレタン結合とウレタ結合による強靱で耐摩耗性に優れた塗膜は、適度な滑り止め効果を持つ。環境面でも低VOC、低臭を実現している。意匠用のステンシルペーパーは、石畳調など全16種類のパターンを用意。本物の石貼りなどに比べ、コストを抑えられる。

同社では、「リリーフ

ペイントHG」を2014年から駅のホームやテーマパークで施工性や耐久性など、経年変化を確認してきた。5年を経過して顧客からの評価が高く、同社としても高い耐久性の確信を得たことから、限定販売から本格販売へと切り替えた。

同社によると、「リリーフペイントHG」は人々が集まるさまざまなシーンで街を明るく華やかにできるとする。特に、色彩心理を利用して、青色なら抑制や鎮静効果が期待できるので事故防止に、若葉色ならリラクゼーション効果でリラクゼーション施設に、茶色なら伝統や継続で博物館などの施設での採用拡大を見込んでいる。

TEL 03・3691・3112